

社会人基礎力協議会News



一般社団法人
社会人基礎力
協議会

第17号 2024年11月30日発行

1 人生100年時代の社会人基礎力育成グランプリ エントリー受付開始！

グランプリ委員会

2024年度の「人生100年時代の社会人基礎力育成グランプリ」へのエントリーを開始しました。今年度も全国決勝大会はオンラインで開催します。地区予選大会の一部には対面開催を取り入れます。コロナ禍以降定着したオンライン開催は、場所に寄らない参加しやすい大会を可能とする一方で、地域の代表を選ぶ予選大会、対面でこそ伝わる熱量の大切さについて、発表者、参加者、審査員の方々から指摘されています。今回の予選大会は、各地区の参加校のみでの開催、対面開催も実施することとしました。

大会趣旨

経済産業省がとりまとめ定義した「人生100年時代の社会人基礎力」に賛同し、大学での学びにおいて、社会人基礎力の教育の普及と、その効果的な教育方法の研究の推進を目的に、「人生100年時代の社会人基礎力」の育成に資する各大学の取り組みと、その取り組みで成長を上げた学生らの多様な実例を集わせ、これらを審査、表彰し、その実例の周知を図ります。

申し込み方法と全国決勝大会までの流れ

出場エントリーはWEB申請です。エントリー内容の審査を行い、審査結果についてメールにてご連絡します。エントリーした各地区で予選大会を実施し、代表チームを選出。2025年3月14日（金）に開催する全国決勝大会に進出していただきます。

応募スケジュール

日程	内容	備考
2024年11月1日（金）	エントリー（応募）受付開始	Webフォーム受付
2025年1月10日（金）	エントリー（応募）受付終了	17:00締切
2025年1月24日（木）	参加決定チームへの通知（予定）	多少前後する場合アリ



グランプリ情報
詳細はこちら

各地区予選大会・全国決勝大会スケジュール

日程	内容	備考
2025年2月11日（火・祝日）	北海道地区予選大会	オンライン開催
2025年2月18日（火）	東北・関東地区予選大会	オンライン開催
2025年2月16日（日）	中部地区予選大会	オンライン開催
2025年2月8日（土）	近畿地区予選大会	オンライン開催
2025年2月23日（日・祝日）	中国・四国地区予選大会	対面開催
2025年2月24日（月・振替休日）	九州・沖縄地区予選大会	オンライン開催
2025年3月14日（金）	全国決勝大会	オンライン開催



オンライン開催

発表者 Webex
一般観覧者 YouTube

「社会人基礎力」の育成・成長についてそのプロセスも重視した審査をします

社会人基礎力育成グランプリは、大会趣旨で述べているように、大学等での取り組みによって社会人基礎力が著しく成長した学生チームを表彰しています。その根底には、本大会を通して、社会人基礎力育成に関する効果的な授業等の取り組み事例を広く周知する目的があります。過去の審査内容が「どれだけ社会人基礎力が成長したか」としていたこともあり、プレゼンテーションでは成長の結果が強調される傾向が目立ちました。前回大会より、成長の過程を問う「どのように成長したか」を審査内容に加えています。学生たちに何がどのように影響を与え、成長するのがよくわかることを期待しています。

年次大会にてグランプリの意義を多角的に検証しています

当協会では、年次大会を開催しています（本紙2ページの記事参照）。グランプリ委員会では、グランプリに関わった発表学生、指導教員、審査員の方々等をお招きしてパネルディスカッションを行っております。過去には学生への指導方法などを先生からじっくり聞くなど行ってきました。今年度は、年々グランプリへの参加校が減少している状況を検証することを目的に、大学を卒業した過去の大会参加者、グランプリに長く、数多く参加している指導教員らをお招きして本大会の意義を再考しました。

（グランプリ委員会 委員長 市川純章）

2021年度に社会人基礎力に関する産官学の対話の場としてスタートした年次大会は、今年度4回目となり、120名以上方々にご参加登録いただきました。今後とも、産官学の対話を重ねながら、「社会人基礎力」の普及を目指してまいります。ご参加いただきました皆様、誠にありがとうございました。以下に開催結果の概要をご報告します。

2024年度のテーマは「AI時代を生き抜くための社会人基礎力」

変化の激しいAI時代に求められる「社会人基礎力」とは何でしょうか。経済産業省によって社会人基礎力が掲げられた2006年から18年が経過しました。この間に人生100年時代の到来により社会人としての活躍の期間がのび、コロナの影響で働き方も大きく変わりました。これからのAI時代を担う人材に求められる社会人基礎力とは何か、改めて考えるときに来ていると思います。本大会の登壇者及び参加者が対話を通してともに考えていく機会となりました。

年次大会プログラム

分類	ご登壇者（所属はご登壇当時）
主催者挨拶・協議会講演	「AI時代を生き抜くための社会人基礎力」 長尾代表理事
基調講演	「社会人基礎力とは人生100年時代の普遍の羅針盤」 実践女子大学 文学部 深澤晶久教授
第1部 リカレント委員会 司会：渡邊委員長	企業講演①：「地域との「共存共栄」を目指したスポーツ・ワーケーション実証事業」 株式会社博報堂 大阪・関西万博推進室 室長 石川慶二郎様 企業講演②：「今日できないことを明日できるように」 宮川バネ工業株式会社 代表取締役 宮川草平様
第2部 研究委員会 司会：栗田委員長	研究発表①：「教職志望大学生の社会人基礎力を高めるための授業実践」 鈴鹿大学 ことば教育学部 木村美来様 研究発表②：「会計教育におけるエンゲージメントと社会人基礎力」 城西大学 栗田るみ子様（社会人基礎力協議会研究委員会委員長）
第3部 グランプリ委員会 司会：市川委員長	講演： 「社会人基礎力育成GPの在りたい姿」 グランプリ講演 グランプリ委員会、参加校の指導教員/学生、審査員の皆さま パネルディスカッション：グランプリ関係者（上記の講演者）の皆さま
閉会・相談会・質問会	閉会挨拶（閉会后、社会人基礎力強化などに関する相談会・質問会を実施）

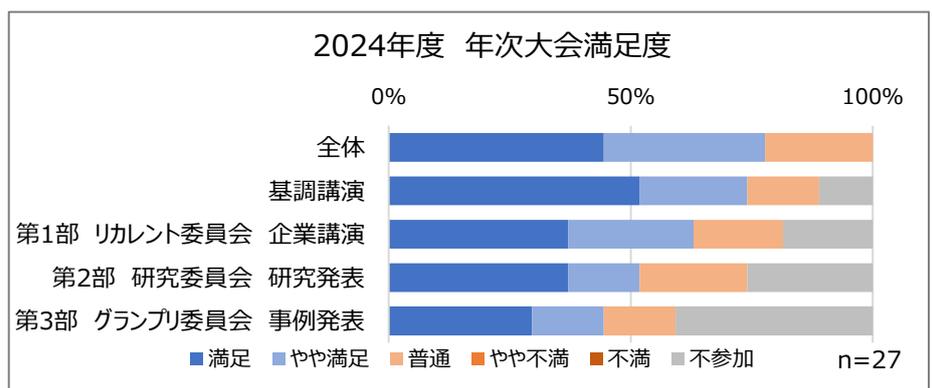
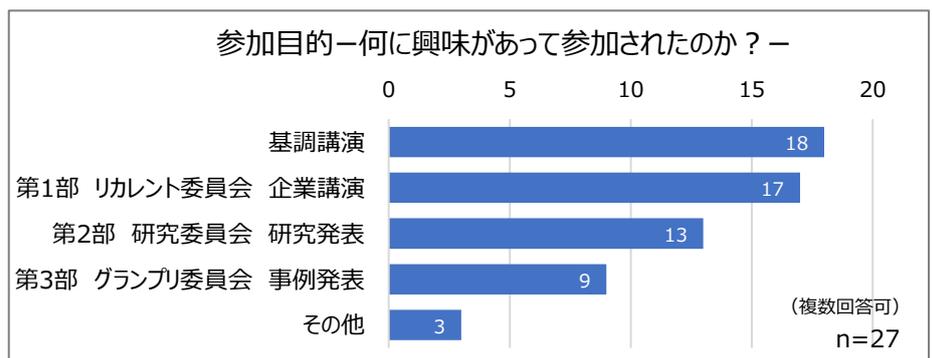
ご参加者アンケート結果

年次大会ご参加者向けに行ったアンケートによると、本年度の参加動機は基調講演と企業講演へのご興味が高い結果でした。アンケートでも企業における取り組みへのコメントが複数寄せられており、社会に出てからの社会人基礎力の発揮や強化への関心の高さが伺えます。実際に参加した満足度を見ると、不参加を除くとすべてのセッションで80%以上が満足・やや満足と回答されています。後半に「不参加」が増加していますが、開催時間が18:50までと遅い時間帯であることが影響しているかもしれません（17:00以降の不参加が目立ちます）。見逃された方はアーカイブ配信のご活用もお願いできればと思います。そのほか、運営方法についてはさらなる見直しを図り、参加者の皆様が参加しやすい方法を検討します。

<アンケートに寄せられた主なコメント>

- 社会人基礎力の推奨に向けた協議会（大会）の意義について理解を深めました。
- やはり実践と実績の伴った経営者や教育者の発表が刺激的であり、現場で運用できる情報が盛り沢山です。今後もジャンルを問わず該当者の人選をお願いします。
- 企業講演については、企業の「取り組み事例」の他に、実社会で活躍するために必要な「基礎力のあり方」や、不足している「基礎力養成上の課題感」などにも触れただけると、今後、更に取り組むべき要件について考える機会になるのではないかと感じました。
- 基調講演は社会人基礎力の将来性を感じることができ感銘を受けました。
- 学部生へのグランプリ活動教育は、大学の専門性教育とは異なる社会人基礎力教育と考えるのが適切だと思います。学部の専門性教育は、特定の専門分野の学習を通して、知的能力を高めるものです。一方、博士課程の研究は社会人基礎力を高めるものだと思います。

（2024年次大会実行委員長 渡邊明男）



2024年10月26日に福山市で開催された日本キャリア教育学会中国・四国地区部会研究会では、福山大学のキャリアデザインゼミ学生による「社会人基礎力育成グランプリ」への挑戦と成長をテーマにした発表が行われました。広島県内外からキャリア支援や人材育成関係者37名が集まり、第1部では4名の学生がグランプリ参加を通じて得た成長体験を発表しました。続く第2部では、学生がファシリテーターを務め、社会人基礎力を基にしたグループワークが実施され、学生と社会人が活発に意見交換を行いました。事後アンケートでは学生ファシリテーターのスキルが高く評価され、キャリア支援の意義が再確認される有意義な場となりました。



社会人基礎力12の能力要素を切り口に課題解決策を考える教材『みらいミッション』

グループワークで使用された「みらいミッション」は、過去の失敗談をテーマに社会人基礎力の12の能力要素を切り口に原因分析と対策を考えるカード型教材です。この教材は、参加者が楽しみながら学び、不安を軽減し、失敗経験から学びを深める機会を提供します。さらに、対策案が実際の場面でどう役立つかを振り返ることで、問題解決能力が養われます。事後アンケートでは、「みらいミッション」が学生の成長や他者との交流を促進する有効な教材であると高く評価されました。教材の詳細は、右記QRコードよりホームページをご覧ください。

(理事 前田吉広)



4 埼玉同友会にて長尾代表理事が講演

社会人基礎力協議会では、社会人基礎力に関する周知に取り組んでいます。2024年10月29日、長尾代表理事が埼玉中小企業家同友会の全県研究集会の第3分科会にて講演しました。

AI時代においてますます必要となる社会人基礎力。企業はIT技術を取り入れつつも「人」にしかできない役割をしっかりと認識する必要があります。そのような観点から、前半は「社会人基礎力」についての概要と意義についてお話ししました。後半は、参加者がそれぞれ考える「社会人基礎力」の必要性についてグループディスカッションを行い、最後は全体共有しました。

経営者の方々からは、「社会人基礎力」の重要性については認識していても、自分の会社や組織における課題に関連付けて考えることで、その重要性が一般論ではなく、自分事としてより身近な概念になったという声が聞かれました。全体共有では、各グループの考える「社会人基礎力」がまとめられ、社員の「健康」や「ウェルビーイング」といった経営者目線での重要な要素も指摘されました。当日は、約40名もの経営者と役員の方々に参加し、熱心なディスカッションが展開されました。

自治体、教育委員会、企業様などから「社会人基礎力」についての講演やワークショップのご依頼をいただくことが増えました。どんなにIT技術が進んでも、人の役割はなくなることはありません。人の役割とはどのようにあるべきなのか、AIと共存するためにはなにが必要なのか、社会人基礎力協議会では、参加者の皆様とともに考えていく研修やワークショップを行ってまいります。

(代表理事 長尾素子)



5 「求められる人材になるための社会人基礎力講座 第3版」発行

2024年10月21日「求められる人材になるための 社会人基礎力講座 第3版」(日経BP 山崎紅著)が発行されました。学生(大学生、短期大学生、専門学校生、高校生)、就職活動中の方、就職内定者、新入社員(3年目程度まで)など、これから社会人として多様な人々と関わりながら生きていこうとするすべての人に、社会人基礎力について考えていただく内容です。

大学の授業や新入社員研修など幅広い活用シーンを想定

本書は、全15章、各章8~10ページ程度の構成で、1章を90分授業で完結できるようになっています。チームディスカッションの取り入れ方によって、60分授業や新入社員研修でも活用できます。受講者が好奇心と問題意識を持って取り組めるようにケーススタディや事前チェックシートを取り入れたり、実際の授業や仕事のなかで行動に移せるように、プロジェクト活動を例に挙げて実践方法を解説しています。「社会人基礎力講座」という講習を独立して行う方法のほか、他の講習の副読本として使用したり、心構えを身に付けるための自習教材として取り入れるなど、さまざまな使い方を想定しています。

また、指導する側の立場の方の手引きとしてお読みいただくと、大変効果的です。これから社会に出る学生や、新入社員、若手社員は、どういう能力が求められるのか、一読いただくことで、指導する側の頭が整理され、効果的な指導ができるようになります。「社会人基礎力」はいずれも基本的なことであり、ある程度の社会人経験があれば、多くの人は仕事をおして体験し理解していると思いますが、本書で体系的に学ぶことで、これまで身に付けてきたことを整理できます。詳細情報は日経BPホームページをご覧ください

(右記QRコード)。

(副委員長 山崎紅)



10月フォーラム

2024年10月19日(土) 10:00~12:30 (Webexによるオンライン開催)

テーマ: 「IT業界向けオープン型新人研修における社会人基礎力の活用と傾向」

講師: 株式会社ウチダ人材開発センタ 営業本部 ラーニングデザイン部ラーニングデザイン課
インストラクター 日暮 薫様氏

プログラム

1. 講演 「IT業界向けオープン型新人研修における社会人基礎力の活用と傾向」
2. ブレイクアウトセッション: グループに分かれて意見交換

主なご講演内容

ウチダ人材開発センタは毎年250人規模のBtoBオープン型新入社員研修を実施しており、「価値ある人材を創造する」をモットーに研修内容に(一社)社会人基礎力協議会(以下、協議会)の監修を仰いでいます。意図をもって社会人基礎力を育成する研修の設計に尽力し、その設計を活かす研修を実施しています。経済産業省が作成した3つの能力とそれらを構成する12の能力要素を協議会の監修に基づき具体化した行動事例として掲げ、その中の1つの能力要素を「仕掛け」として研修中に実行必須としています。実践の場を提供することにより、一日の行動と心の目標を達成できるように研修を設計しており、結果として社会人基礎力の育成につながっています。研修初日と最終日におこなうアンケートにもその変化が現れています。

変革を担う人材育成には意識変革が重要であり、失敗の意義を強く認識させる研修が必要であることや、国際競争力を持つ人材育成が必須であることなど、お話は多岐にわたりました。
(委員長 渡邊明男)

7 一般会員・学生会員・賛助会員 随時募集中

協議会事務局

一般社団法人社会人基礎力協議会では、一般会員・学生会員(個人)、賛助会員(企業・団体)を随時募集中です。協議会活動に賛同いただける皆様のご応募をお待ちしております。詳しくは協議会HPをご参照ください。

種別	対象・会費	特典
一般会員	個人 年会費 1万円	機関誌・ニュースレターなど各種情報をお送りしたり、イベントへのご参加資格が得られるなどの特典があります。詳細は右記QRコードからご確認ください。
学生会員	学生 年会費 免除(在籍期間内)	
賛助会員A	法人・団体 年会費 20口以上(1口1万円)	上記特典に加えて、A・B・Cの種別によって協議会HPへの広告掲載やイベントでのご講演、機関誌へのご投稿をいただけるなどの特典があります。詳細は右記QRコードからご確認ください。
賛助会員B	法人・団体 年会費 10口以上20口未満(同)	
賛助会員C	法人・団体 年会費 1口以上10口未満(同)	



会員規則
(入会案内)

8 協議会機関誌「社会人基礎力研究」投稿論文募集 締切迫る!

事務局・研究委員会

2024年度の協議会機関誌「社会人基礎力研究」(第6号)の投稿論文を募集中です。「社会人基礎力研究」は、社会人基礎力協議会における研究活動を広く世に問うことを目的として、年1回発行しているものです。会員の皆様のご投稿をお待ちしております。詳細は、社会人基礎力協議会HPの「『社会人基礎力研究』投稿論文募集のご案内」をご参照ください(下記QRコード)。

募集概要

原稿種類: 研究論文、研究ノート、事例報告、評論、その他、研究委員会が認めたもの(いずれも社会人基礎力関連テーマ)

投稿資格: 原則として会員、共著の場合は執筆者に1人以上会員が含まれていること

(会員以外からの投稿は会員の推薦をもって認める)

提出方法: 社会人基礎力協議会研究委員会にメールにて提出

件名に「機関誌投稿原稿」、メール内容に責任著者の氏名、所属、電子メールアドレスを記載

宛先: e-mail: kenkyu@biz100.org

締切日: 2024年12月20日(金) 17:00まで

問合せ先: 社会人基礎力協議会 研究委員会 e-mail: kenkyu@biz100.org

(委員長 栗田るみ子)



編集後記



ニュースレターへのご意見・ご要望募集

2024年度 社会人基礎力育成グランプリのエントリーが受付開始となりました。常連校はもちろん、初めてご参加いただく大学からの、多くのチームのエントリーをお待ちしております! このNewsでは大学や企業における社会人基礎力強化に役立つ情報を取り上げていきます。会員の皆様からの事例情報を随時募集しております。記事へのご意見、取り上げて欲しいテーマのご要望などもお待ちしております。左記QRコードの協議会HP「お問合せ」フォーム、または、下記事務局メールへお気軽にご連絡ください。よろしくお願い申し上げます。

(担当: 研究委員会副委員長 人材開発コンサルタント 山崎 紅)